

科目名	金融機関論 B Financial Institutions B						
科目担当者	宮永 雅行 MIYANAGA Masayuki						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>1990年以降のバブル崩壊、デフレ経済、そしてその後のアベノミクスと金融機関は景気変動の影響を大きく受けてきた。その間、国の金融行政に後押しされながら金融機関は生き延びるための新たな展開を図ってきたのである。この中で脚光をあびた金融商品が、投資信託と保険商品であった。これらの商品は現時点で金融機関の主力商品に育ってきている。そこで後期は保険に焦点をあて、これを学習することで金融機関の業務を正しく理解する。今後の皆さんの人生の中で、保険会社のセールスが行う商品説明でも教えてもらえない「保険とは何か」について深く説明していく。また、金融機関に在籍した者として、保険販売におけるリスク説明の重要性と、現場でのコンプライアンス体制のあり方などについても説明する。</p>						
授業の到達目標	<p>①保険を学習することでリスクとその対応方法について理解する。 ②保険のコンプライアンスについて学習することで、適切な販売の在り方を理解する。 ③保険の仕組みを理解することで、保険とは何かを理解する。</p>						
授業計画・内容	1	リスクマネジメントとは					
	2	リスクの処理技術					
	3	保険制度全般について					
	4	投資家保護に関する制度					
	5	保険マーケットの最近の動向					
	6	保険会社の破綻への対応（支払い補償制度）					
	7	大数の法則・収支相当の原則					
	8	保険料の構成と平準保険料					
	9	剰余金・配当の仕組み					
	10	配当タイプ別の保険					
	11	約款と告知義務					
	12	責任開始日（責任開始日とは何か、決定条件）					
	13	保険料の払込方法（種類、払込期日と猶予期間）					
	14	保険料の払込みが困難になった場合の対応手段					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	<p>毎回、Moodleに事前に掲載した次回授業内容のPDFを熟読し、自分なりにノートにまとめてみる。（毎週2時間程度）</p>						
授業外学修 (事後学修)	<p>毎回、授業内容について要点を整理し、不明な個所を調べておく。（毎週2時間程度）</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験 2回の課題の提出				70% 30%		①②③ ①②③
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	資料						
参考文献							
その他	<p>※この科目は、金融機関での勤務経験を有する教員が実務経験を踏まえて「保険とは何か」について授業を行います。</p>						